統合生調点 統合生調刑院宝及び定相性院宝田 院内煙進診療計画書

患者氏名	様(男・女				(M·T·S)	年	Я	日生	3生(歳)	身体疾患		
忠有氏石				18(男·女)	(W-1-3)		л	пт	口王(成)	既往歴		
担当者 サイン	主治医		看護師		精神保健福祉士			1	作業療法士		その他の 担当者	

目標 入院形態 入院11週目 入院1週目 実施項目 入院2週目 実施項目 入院4週目 実施項目 入院8调目 入院9週目 実施項目 入院10週目 実施項目 □身体疾患の確 記 (他科医師との連 携) 口入院治療・行 動制限の同意取 口入院形態・行 動制限の見直し 口入院形態・行 動制限の見直し □入院形態・行 □入院形態・行 通常の診察は 動制限の見直し 動制限の見直し (行動制限は必 □治療状況の確 認と対処 □身体症状の評 価 □精神症状の評 価 жз 生活援助 生活援助 看護師 口生活自立度自 □生活自立度自 生活援助 □生活自立度自 生活援助 □生活自立度自 □エルロゴ及日 □チェック※4 □退院後の生活 コエル日立及日 己チェック※4 □退院後の生活 己チェック※4 こチェック※4 について(2か月 で退院する場 について(3か月 で退院する場 合) 本人、家族等よ り下記事項を確 □社会資源 □社会資源 認し、その評価 を行う □社会資源 チェックリスト作 チェックリスト作 を行う
□関係機関への
成※6 成(3か月で退院 成(2ヶ月で退院 精神保健福祉 □生活環境 口退院支援 □退院支援 チェックリスト作 成(2ヶ月で退院 する場合)※7 チェックリスト作成(3か月で退院 する場合)※7 口入院患者・家 族から服薬状況 について聞き取 □退院時患者・ 家族服薬指導 (2ヶ月で退院す る場合) □退院時患者・ 家族服薬指導 (3ヶ月で退院す る場合) □服薬指導 口服薬指導 薬剤師等※1 □クロルプロマ ロクロルノロマ ジン(CP)換算を 行い、処方量の □CP換算を行 □CP換算を行 い、処方量の確 認 い、処方量の確 認 口薬剤の副作用 等の評価※8 口持参薬チェック 確認を行う 口薬剤の副作用 認 □薬剤の副作用 等の評価※8 応 □薬剤の副作用 等の評価※8 口精神症状の評 口精神症状の評 □精神症状の評□精神症状の評 □精神症状の評 公認心理師 ×9 ×9 □認知機能の評 作業療法士等 □作業療法のオ ×2 口作業能力評価 口作業能力評価 口作業能力評価 口作業能力評価 ※12 リエンテーション 口作業 口作業療法実施 ※12 **※12** 12 計画立案 医師、 □患者・家族と 共に治療方針の 決定※19 口患者・家族と 共に治療方針の 決定※19 □患者・家族と 共に治療方針の 決定※19 口患者・家族と 共に治療方針の 決定※19 □患者・家族と 看護 師、薬 剤師等 ロ思有・家族と 共に治療方針の 決定※19 □疾患に対する教育(統合失調症の症状、注意サイン、薬、社会資源 について) 2ヶ月で退院する場合※15 「疾患に対する して振返り) 医師 看護 認心理 □疾患に対する教育(統合失調症の症状、注意サイン、薬、社会資源 口疾患に対する 共通 師等 について) 教育(家族ととも に振返り) 3ヶ月で退院する場合※15

導 ※13

全職種

カンファレンス※

14

□地域移行支援 カンファレンス※

14

□退院前訪問指 □地域移行支援

導 (2ヶ月で退院す

る場合)※17

カンファレンス (2ヶ月で退院す る場合)※16

□退院前訪問指 導(2ヶ月で退院 する場合)※18

□退院前訪問指 □地域移行支援

導 (3ヶ月で退院す

る場合)※17

カンファレンス (3ヶ月で退院す る場合)※16

□退院前訪問指 導(3ヶ月で退院 する場合)※18

^{※1} 薬剤師等、病臓や副作用が評価出来る者
※2作業療法士等、作業遂行機能の評価出来る者
※2作業療法士等、作業遂行機能の評価出来る者
※3隔離を必要とする場合は、看護師もPANSS — EC評価等、これに準じた評価ができるものを用いて評価を行う
※4生活自立度自己チェックとは、食事、排泄、睡眠、保清、身体状態、精神状態、対人関係等の項目をチェックするもの
※5関係機関とは通院先診療所、相談支援事業所、生活保護担当者等を指す
※6社会資源とは年金、精神障害者手帳、自立支援、養育手帳、介護保険、陰害認定等の項目をチェックし、今後利用するものが確認できるもの
※7退院支援チェックリストとは、帰宅先の確認、通院医療機関の確認、自立支援、手帳等の利用確認、今後のキーパーソンの確認、必要関係機関等の項目をチェックするもの
※8薬剤割作用の確認はDAI-10、SAI-J、DIEPSS等、これに単じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※10PANSS又はMS評価等、これに準じた評価ができるものを用いて評価を行う
※11BACS-J/WCST慶應版等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※111BACS-J/WCST慶應版等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※112 OSAI等、これに準じた評価が出来るものを用いて評価を行う
※113人院前の生活環境地関係を行

^{※12} USALI 等、これに単しに評価が出来るものを用いて評価を行う ※13人院前の生活環境形理を行う ※14地域移行支援かノファレンスとは、その月までに行った症状評価、作業能力評価、服業指導、社会資源の調整結果等を報告し、退院に向けて地域資源の情報の共有・退院後の地域支援計画立案を行う ※15疾患し対する教育は、患者及び家族に対して、4週間かけて統合失調症の症状、注意サイン、薬、社会資源についての教育等を行うもの ※16※14に加え、アウトリーチや体験DC、訪問看護も検討 ※17退院後に起こりうる問題の対処法の確認 ※18退院後の具体的環境調整を行う ※18退院後の具体的環境調整を行う ※19自己決定への支援(服薬、金銭等)